

ゆめたろうプラザ開館20周年記念

ゆめ
「YOU+ME プラっとフェス」

5月4日(土)、5日(日)に、開館20周年を記念しておこなった「YOU+ME プラっとフェス」。晴天に恵まれ、ゆめたろうプラザいっばいに、子どもたちの笑顔と歓声があふれました。

【前夜祭】

4(土)

幻想的な光のアートと
シンセサイザー



夕闇の中、「光のさんぽ道」を彩る200本の「竹とうろう」は、子どもたちをはじめ、たくさんの方が事前ワークショップで制作した作品です。駐車場に色とりどりの模様を描くのは、『白沢ホテルの会』の「竹とうろう」。そして「流れの池」を彩る「ゆめホテル®」(武豊オリジナルイルミネーション)は、まるで池の中に出現した光の花畑のようでした。

それらの美しい光に囲まれ、白いドレスの歳田彩雅さんが登場。歳田さんの奏でるシンセサイザーの音色が光のアートと相まって、私たちをより幻想的な世界へと誘いました。

また、ホールで行われたバックステージツアーでは、初めて見る舞台の仕組みを、参加者の皆さんに楽しんでいただくことができました。



【本祭】
5(日)

薫風の芝生広場と、
子どもたちのはじける笑顔



爽やかな晴天に恵まれた芝生広場では、オープニングの「三代真史ジャズダンスサークル武豊」のダンス、「武豊吹奏楽団」によるブラス、「Emi&Alpakka」によるアコーディオンとキーボードの演奏、人生のベテラン「グレート・シルバー・オーケストラ」の歌と演奏、武豊中学校新体操部による演技と体験コーナー、「楽音ジャック」によるカホンの演奏、そして「Swing Band TAKETOYO」によるスイングジャズが披露され、地域で活躍する皆さんの生き生きとした姿が印象的でした。

また、「プチ・忍者体験」では、片栗粉を水に溶いて作ったダイラタンシーの水の上を、子どもたちが何度も歩いたり走ったりし、「映像ディレクター体験」では、カメラマンとスイッチャー担当に分かれて、TV局のように映像の切り替えを楽しんでいました。



屋内でも「プチ・アフレコ体験」や「ゴム銃体験」など、いつもゆめプラで開催している講座のミニバージョンを行い、たくさんの子どもたちに体験してもらいました。また、学校アンケートで希望が多かった工作コーナーとして、名古屋芸術大学や相山女学園大学の先生や学生さんたちに協力していただいた「LEDガンとネコの電子